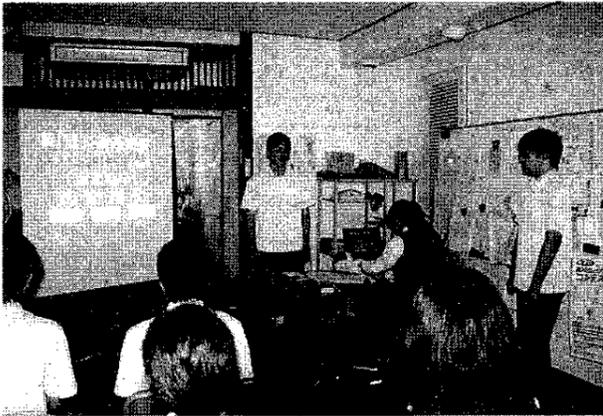


# 商品開発や地方創生に取り組む

## 富士宮高校会議所

富士宮高校会議所(遠藤佑太会頭)は22日(西町レトロ館)で第3回地域研究発表会を開き、3組の高校生が研究内容について参加者を前に発表した。発表は、富士宮高校や富士宮市内の高校生が連携し、高校生目線で地域振興や地方創生、地域ビジネスの発掘などに取り組んでいる内容を伝えあったもの。

はじめに、富士宮高校農業クラブキノコ班の副会長、遠藤佑太会頭が「被災地に緑を!」と意欲を語った。



津波による塩害地の緑化対策に取り組む富士宮生

最後に「量産して水田の収量アップや畦畔の緑化などに広く役立てたい」と意欲を語った。

続いて星陵高校2年の興津菜花さんと諏訪部菜月さんが、夏休みを利用して小学生に「発酵教室」を開き、酵母を使った発酵実験などでわかりやすく説明した内容を報告した。

引き続き、富士宮高校会議所の発酵班の笠井愛莉さんが「ニジマスの残渣を利用した肥料作り」について製造経過を発表した。

笠井さんは朝霧の牛

ふんとニジマスの残渣とコラボリサイクル化して商品化に向けた取り組みについて紹介と抱負を語った。

# 「秋彼岸」天母山 法華道場で法要

「彼岸の中」の23日(木)、富士宮市教会(旧・法華道場・木村義賢住職)では、秋彼岸の法要が営まれた。

3年前までしばらく無住だった法華道場に、2年前からは寺としての行事も復活し、今年7月には日蓮宗(東京池上・中川法政代表役員)から「日蓮宗天母山法華教会」として承認されている。正式に日蓮宗寺院(法華教会)となつて初めての彼岸行事は、法華道場から中興を支えてきた責任役員佐野洪二さんら地元崇敬者らが集い、営まれた。



お焚き上げによる供養

本堂で読経を唱えた後、本堂前でお焚き上げが行なわれ、崇敬者や列席の信者らが先祖の戒名を書いた供養の紙を木村上人が読経と共に読み上げてお焚き上げの炎に投げ、参列者が手を合わせて供養を行なった。

これまでの法華道場から「日蓮宗天母山法華教会」と承認されたことに伴って、木村上人は功績が認められ「大僧都」に認証(管長大僧正菅野日彰より)された。

# 崇敬者ら集い先祖の供養



「彼岸の中」の23日(木)、富士宮市教会(旧・法華道場・木村義賢住職)では、秋彼岸の法要が営まれた。

3年前までしばらく無住だった法華道場に、2年前からは寺としての行事も復活し、今年7月には日蓮宗(東京池上・中川法政代表役員)から「日蓮宗天母山法華教会」として承認されている。正式に日蓮宗寺院(法華教会)となつて初めての彼岸行事は、法華道場から中興を支えてきた責任役員佐野洪二さんら地元崇敬者らが集い、営まれた。

# 「情報生産者」の夢

「情報生産者になるにはアウトプットが相手に伝わってナンボ。なぜなら情報生産とは「コミュニケーション」行為だからです。情報が相手に伝わらない責任はもっぱら情報生産者にあります。もし誤解を生むとしたら、その責任ももっぱら情報生産者にあります。その点で研究という情報生産の特徴は、詩や文学のように多義性を許さない、という点にあります。誤解の余地のない明確な表現で、ゆるぎのない論理構成のもので、根拠を示して自分の主張で相手を説得する技術。これが論文等アウトプットには求められます。」(上野千鶴子・東京大)

# 「むしトーク」開催

ふじのくに地球環境史ミュージアムと警備「むしトーク」イベント



境史ミュージアム2階 講堂で開催する。

▽イベント「むしトーク」

▽開催日 平成30年9月29日(土)

▽時間 13時30分～15時

▽会場 ふじのくに地球環境史ミュージアム2階講堂

▽内容 「みんなの昆虫学校」作者の警備田市電洋昆虫自然観察公園の「こんちゅうクン」こと北野伸雄さんと当館の岸本年郎研究員との昆虫愛あふれるトーク。

お誕生おめでとう

金子歩叶(紗央理) 中島町

和葉月樹(伊織) 羽

福原鳳太(孝敏) 万野

原新田

望月治翔(孝治) 万野

原新田

一亡くなった方

金子真理也(85) 上柚野 88番地

「むしトーク」についてお問い合わせは「ふじのくに地球環境史ミュージアム」05

外記有吾(78) 阿幸地町168番地

石川明彦(30) 淀平町941番地

岡村みつ(89) 上柚野597番地

石川邦雄(84) 上家748番地

遠藤利江(95) 淀師1481番地

小泉みよ子(85) 淀師山本新太郎(73) 大鹿窪940番地の22

志田洋人(51) 万野原新田3413番地の10

「情報生産者」の夢

「情報生産者になるにはアウトプットが相手に伝わってナンボ。なぜなら情報生産とは「コミュニケーション」行為だからです。情報が相手に伝わらない責任はもっぱら情報生産者にあります。もし誤解を生むとしたら、その責任ももっぱら情報生産者にあります。その点で研究という情報生産の特徴は、詩や文学のように多義性を許さない、という点にあります。誤解の余地のない明確な表現で、ゆるぎのない論理構成のもので、根拠を示して自分の主張で相手を説得する技術。これが論文等アウトプットには求められます。」(上野千鶴子・東京大)

## 秋の全国交通安全運動 9月21日～9月30日

# 「安全をつなげて広げて 事故ゼロへ」

**運動の重点**

- ① 子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ② 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ③ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④ 飲酒運転の根絶
- ⑤ 交差点の交通事故防止

安全は程良い速度と車間距離

**合資会社 一光**

浄化槽の保守点検と清掃

富士宮市 淀師1168-8  
電話 27-2438(代)  
FAX 27-2439

バイクから大型車まで

**有限会社 笹原自動車工業**

各種自動車販売・車検・点検・整備・钣金・塗装

車のトラブルには...

**ロードサービス ササハラ**

レッカー・インロック・事故・故障・バッテリー上がり等

〒418-0001 静岡県富士宮市万野原新田4047-3  
TEL.0544-27-7756 FAX.0544-27-3302

高齢者や子どもに目配りを

**(有) 櫻門商事**

代表取締役 村野 吉宣

富士宮市西町 23-17  
TEL<0544>26-5888  
RX<0544>26-6014